のびのびいなっこ

発行所
福島県立猪苗代支援学校
969-3283
耶麻郡猪苗代町大字長田
字並柳西 3966-2
TEL 0242(65)2151
FAX 0242(62)5083

【　把手共行～手を取り合って、共に行く～　】

校長　渡邊幹男

今年度も地域の多くの方々に支えられながら、本校の教育活動を実施することができました。皆様には本当に感謝申し上げます。

保護者の御支援はもちろん、猪苗代第二小、裏磐梯中、磐梯中、猪苗代高校との交流、会議だけでなくいなっ子まつりへも参加してくださった学校評議員の皆様、人権教室を開いてくださった人権擁護委員の皆様、バケツ稲栽培の指導に来てくださったＪＡの鈴木様、箏演奏をしてくださった日景様、長照寺の楠様、講義をしてくださったいなびしの長友様、スキーのボランティア指導をしてくださった指導員の皆様、表敬訪問におつきあいくださった猪苗代町の二瓶町長様、道の駅ばんだいで「うまくてごめんな山菜」の販売会にかけつけてくださった磐梯町の佐藤町長様、そして、「うまくてごめんな山菜」の商品開発の取組で出会ったたくさんの方々等々、今年度は、ここに書ききれないほど多くの方々に本校の子どもたちと教職員を応援していただきました。

現代日本の子どもたちは、家庭と学校（と習い事）の往復に日々追われ、社会体験が少ないのではないかと言われていますが、本校の子どもたちも家庭・施設と学校（と事業所）の往復の中で「異質な他者」との出会いが少ないと私個人は感じていました。価値観や年齢や立場の異なる多様な他者との出会いによって、人の認識は広がる機会を得ます。出会いの限られた本校の子どもたちだからこそ、地域の方々との学びがより貴重な機会となります。それが、今年度は広がりと深まりをもって大きく展開することができました。ありがとうございました。

地域の皆様におかれましては、今後とも、「把手（はしゅ）＝手を取り合って」、「共行（きょうこう）＝共に進んでいく」ことにお力添えいただければ幸いです。

【地域との連携・協働】そり・スキー教室

【小学部】

二月十二日にネコママウンテンでそり教室を実施しました。

昨年度は、積雪が少なかったため、ダイナミックな活動はできませんでしたが、今年度は、スピード感のあるそり遊びができました。子どもたちは速いスピードを怖がることなく、何度もゲレンデに上り、十分にそりすべりを楽しむことができました。

晴天にも恵まれ、笑顔いっぱいの一日となりました。

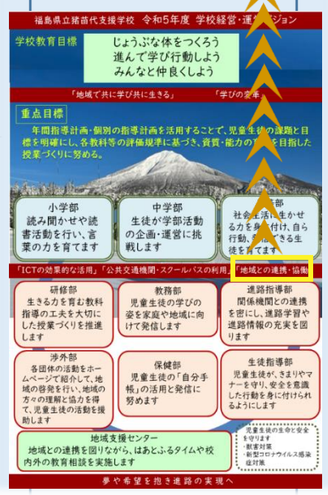
【中学部】

二月七日にカメリーナでスキー教室を実施する予定でしたが、大雪のため中止となりました。代わりに総合で学習しているニュースポーツの一つである「ラダーゲッター」を行いました。ニチームで点数を競いました。慣れないボールの挙動に戸惑いながらも、楽しんで取り組むことができました。

昼食は、ソースカツ丼を全員で一緒の教室で食べました。

【高等部】

二月十四日にネコママウンテンでスキー教室を実施しました。今年度は地域のボランティアの四名に御協力いただき、毎授業アドバイスをいただきました。当日は、練習の成果を発揮して、リフトに繰り返し乗り、何度もゲレンデを滑り降りてくる生徒が見られました。また、スキーが苦手な生徒も、緩やかな斜面で教師と一緒に滑る様子が見られ、充実したスキー教室となりました。



小学部　【卒業おめでとう会】

三月四日（火）に卒業おめでとう会を行いました。卒業生への感謝の気持ちを込めて、在校生が当日までに、飾りや招待状、プログラム、プレゼント等を準備しました。おめでとう会では、思い出のスライドを見たり、ゲームやダンスをしたりして、小学部全員の時間を楽しみました。卒業生から在校生へのプレゼントもあり、在校生もとても喜んでいました。子どもたちの心のこもった、温かい会となりました。

中学部　【卒業生を送る会】

三月七日（金）に「卒業生を送る会」を行いました。お祝いの気持ちを込めて在校生が虹をモチーフに会場を装飾したり、草木染めでバッグを作ってプレゼントしたりしました。在校生で企画したゲームでは、時間を忘れるほど大いに盛り上がりました。卒業生の「将来のなりたい姿」の発表では、自分の叶えたい夢を堂々と発表する姿に、最上級生の頼もしさを感じました。最後に卒業生から力強い太鼓によるエールが在校生に送られました。

高等部　【卒業生を送る会】

三月十一日、卒業生を送る会が行われました。これまでの多くの思い出を振り返りながら、全員が感謝の気持ちを伝え合いました。在校生は、卒業生がこれまで示してくれた努力や優しさに、心からの「ありがとう」を送りました。感動的な手紙や、みんなで歌った合唱が会場を温かい雰囲気で包み込みました。

これから新しい道を歩む卒業生たちの、幸運を祈りつつ、これからの未来が輝かしいものでありますように、心から応援しています。

【　学校評価について　】

教頭　佐々木文枝

今年度も学校評価アンケートへの御協力、ありがとうございました。教員、学校評議員、ばんだい荘職員、高等部生徒は一〇〇％、中学部生徒は九十二％、保護者は九十五％の回答率でした。

結果を見ますと、全ての項目で評価ポイントが高いことから、学校経営・運営ビジョンが達成されていると評価されたと言えます。

保護者の方々の評価では、「学び合える場の工夫と言葉の力の育成」「一人一人の健康課題解決に向けた取り組み」「児童生徒の生命と安全を守り、獣害対策や安全・防災教育の充実」の項目の評価が高く、学校生活及び学習の取組については概ね満足いただけているという結果でした。

課題として、三点挙げます。一つ目は、「相手の良さを認め合い、思いやる言葉遣いで会話する力の育成」です。教員が児童生徒の手本となるような丁寧な言葉遣いで話し、名前には必ず「さん」「くん」を付けて呼ぶこと、会話の中身・内容に気を付けながら丁寧なやりとりを行い、児童生徒の会話する力ややりとりする力を育成していくことに努めます。

二つ目は、「ＩＣＴを活用した効果的な学び」です。授業参観や行事でＩＣＴを使用している場面を保護者の方々に見ていただいたり、学級通信や懇談で使用場面の紹介をしたりしていきます。

三つ目は、「地域と連携した学びの充実」です。ゲストティーチャーを招いたり、職業科で地域との連携を図ったりしていきます。また、交流及び共同学習、居住地交流を充実させていきます。

今年度は十年に一度とも言われる大雪、岩手県大船渡市の山林火災と、自然の力のすさまじさに無力感を覚えることもありました。一人一人の力は小さくとも、力を合わせれば乗り越えていけるのかなと思います。今後も、ウェルビーイング（一人一人の幸せ）の実現を目指し、さらによりよい学校を目指し、職員一丸となって取り組んでいきます。

←猪苗代支援学校ＨＰ
本校の様々な取り組みを発信しております。
https://inawashiro-sh.fcs.ed.jp/

←本校「note」アカウント
児童生徒の取り組みや活動の様子を中心に発信しております。
https://inawashirosh-shs.note.jp/